

# 北海道教育委員会（所在地：北海道）

## 事業名

## 障害者の生涯学習支援体制構築モデル事業

### 事業の趣旨・目的

- ・ 障害者本人や福祉、医療、教育等の関係機関の参画のもと、学校卒業後における障害者の学びの場の整備・拡充等についての協議、多様な学習活動の総合的な支援を推進するための体制構築や人材育成、実践研究等による、共生社会の実現に向けた取組の推進

### 事業内容

- ・ 地域連携コンソーシアム会議（年3回）
- ・ 多様な主体の連携による学習プログラム構築事業（5管内1施設）
- ・ 医療法人稲生会による、ICTの積極的な活用による学習プログラム
- ・ 共生社会コンファレンスin北海道（ハイブリッド方式、154名）
- ・ 道内市町村で取り組む学びの現状についての調査研究
- ・ 学校卒業後の学びの接続を意識した取組の推進及び特別支援学校の障害者の生涯学習の必要性についての理解を深める機会
- ・ 障害者の学びを支援する人材を育成する講座（スタートアップ支援学習会、障害者の生涯学習理解促進キャラバン隊）
- ・ 情報の収集・提供に関する仕組みづくりに向けた検討
- ・ 公立図書館や学校図書館の担当者を対象とする研修会への支援 等

### 事業実施体制・連携先

医療法人、社会福祉法人、大学、特別支援学校、社会教育関係団体、文化団体、当事者団体、道立生涯学習推進センター、社会教育施設（ネイパルなど）、市町村（教育委員会含む）など

### 今年度の取組状況

#### 〈成果〉

- ・ 医療・福祉等の多様な団体が連携・協働するモデルプログラムを実施することで、今後、全道各地で取組を行う上での企画や運営上のノウハウを蓄積するとともに、事業に関わった団体の連携や協働の関係性を強めることができた。
- ・ オンライン形式の入門講座を実施することで、学びの場づくりを中核となって進める人材の育成を行うことができた。
- ・ コンファレンスやキャラバン隊を実施することで、本取組の重要性について、地域住民の理解を促進することができた。

#### 〈課題〉

- ・ 「障害者支援＝福祉分野の施策・取組」という行政内部の役割分担の先入観が根強いいため、社会教育分野を含めた幅広い人材に対する理解を促進する取組の継続が必要である。

### その他



障害者の生涯学習理解促進  
キャラバン隊（十勝）



多様な主体の連携による学習  
プログラム構築事業（釧路）



スタートアップ  
支援学習会（後志）



実施報告書  
（道教委社会教育課HP）



医療法人稲生会による情報提供  
（みらいづくり研究所HP）